

10/14

市民運動会 車椅子体験ラリーが復活して

——身障者協会芥見東分会長・五十川 勝也

市民運動会での車椅子競走が無くなって早や何年かになります。この競技を採り入れてくれた当初の関係役員の英断と高い見識には深く感謝していました。けれども、やがて、「万一何か起きたら・・・」という理由でこの先駆的な試みは取り止めとなりました。



「また機会があったら復活するから」というある役員さんの言葉を胸に復活を願ってきましたが、今回の運動会で、再び陽の目を見ることになりました。私は、この

競技を通して障害者/高齢者の生活の一端を健常者の皆さんに感じ取っていただければと願います。

障害者/高齢者の中には手足や目の不自由な人、寝たきりの人、激しい運動が駄目な人・・・など様々です。好奇の目に曝されることも恐れています。でも子どもから大人までいろんな人が障害を象徴する車椅子を体験して、観客の皆さんと共に、大変さと、そして決して他人事ではないことを実感してもらえたら、障害者を見る眼は変わり、意義は大きいと思います。

昨年度の「近隣助け合い標語」の入選作に、「車椅子 声かけ 手を添え 笑顔そえ」という優しいことばがあり、その気づきぶりに心を打たれましたが、市民運動会が、健常者に限らず障害者も取り込んだ懐深い催しとして発展することを願っています。 □■

防犯 青色パト始めて半年。油断大敵

地域での青色灯防犯パトは、各自治会や各種団体、そしてボランティアの方の地道な協力を得ながら続けて半年になりました。今では、芥見南の方へも回り、犯罪抑止に効果を上げてきていると思われま

す。一方で、県下の犯罪は増加傾向にあり、この地域でも車上狙い(主にカーナビ)や抱きつき事件なども散発しており、油断がなりません。小中学生への声かけ事案も発生しています。登下校の際は

- ① 必ず通学路を通る
- ② 1人で歩かない
- ③ 人通り多く、明るい所を通る

大人も散歩や買い物時に目配りを広げましょう □■



期待のコミバス 愛車を手放せるかな？

——桐が丘支部・清水 宏基さん

大洞緑団地にお世話になって30年の歳月が過ぎました。昔は団地が若く、幼稚園、小中学校、それに高校も子どもが満ちていました。団地行事の春祭りには、子ども神輿が街角を練り歩き、運動会では、子どもたち中心の競技に親たちも熱い声援を送りました。

今の団地は、老人天国になりつつあり、近所を見ても学生はゼロに近く、昼間はシンと静まり返っています。団地は、丘の上にあるようなもので、買物にも病院へ行くにもきつい坂道を上り下りせねばなりません。小生も八十路を過ぎ、周りから車をやめよと云われていますが、色々考えると踏ん切りがつかません。

今話題となっているコミバス、大いに期待しています。住民の意見が十分反映され、路線バスではできない、きめの細かい結論を出してもらいたいと思います。 □■



9月17日 敬老会でマジックショーに興じる

夢 モノレールに代わるもの、それは

——柏台支部・渡部 邦夫さん

本紙8月号で、「モノレール整備を夢見ていたが・・・」という一節を読み、私も夢見た一人だったことを思い出しました。今の夢は—



各地区にある公園を起点として、散策の小道を指定し、リンクする。かなりの道のりとなる。小道には屋根付きのモダンな休憩所や花壇のあるポケット・パークをほどよく設け、子どもたちが楽しく遊ぶ公園もあり、急な坂道には〈動く階段や歩道等々〉(これこそ大いなる夢)が・・・。

これらの小道を楽しく歩きながら自分のエリアとは異なる景色に新たな発見をし、地域の人々とも触れ合う。道筋には、各地区の子どもたちやアイディマンによるイラスト入りの案内板も設置されて楽しくなることでしょう。—こんな夢を見えています。 □■



動く階段になれば・・・

災害時に備え大声を競うゲームもあります。抽選会の賞品は防災グッズです

配布

- 大洞 4-82
- 東山 3-55
- 北山 38-372
- コモン北 6-88
- 桜台 23-337
- 桜市 41-314
- 柏台 31-339
- 柏市 26-219
- 桐丘 23-201
- 桐市 6-43
- 紅葉 21-269
- 紅市 16-147
- 桜2P 1-26
- 計 239 /2492

「コミバスをこう使いたい」↓ご意見をお寄せください。また、愛称やキャラクターも次号および情報紙「交通サポート」で募りますので、お知恵を貸してください。

敬老会 6地区で188名の方を迎えて

——北山支部・増田 弘夫さん

北山・東山地区では、前日来の雨も上がった9月17日、ご長寿の方52名を迎えて、北山公民館で敬老会が催されました。来賓祝辞の後、乾杯し、食事をしながら互いの健康に感謝し、しばし歓談されました。

アトラクションもありました。ハーモニカ演奏を始め、珍しいノキリ演奏が披露されました。ノキリがなぜ響くのかの科学的な解説もあり、皆さん、ナルホドと感心しつつ聴いていました。トリは、「千の風になって」など美しい女声コーラスで、最後に一緒に「ふるさと」を歌い、明日もまた元気で、と声かけ合って別られました。



ノキリも楽器に!?

敬老 医療保険料は一斉、祝い金はバラバラ

——柏台市営支部の方より

高齢者(65歳)になると、高額介護・医療保険料が全国一律、否応なしに年金から引かれますが、敬老の祝い金などに関する扱いは地域で様々です。

名古屋市に住む主人の妹は、70歳で祝い金と記念品をいただいたと喜んでいましたが、岐阜市では主人の場合、2歳上で何もいただけないと寂しげです。何歳になっても“いただける”喜びは大きいものです。

後期高齢者(75歳)になっても、自分は若いんだと言って敬老会へ出かけない方が見えますが、それは別として、祝い金などは地域によって適用年齢を違えることなく、〇〇歳になったら一律に、長い人生への労りと尊敬の気持ちをこめて贈ってあげて欲しいものだとして敬老の日に当たり思いました。 □■

粗大ゴミ 業者へ頼むよりリサイクル・センターへ

最近、軽自動車で「リサイクルの〇〇です」と街宣しながら、パソコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機などの無料回収を呼びかけているのをご存じでしょう。けれども出そうとすると、7千円かかる、と請求され、困ったという事例が報告されています。不法投棄もしているそうです。少しお金がかかり、面倒でも、リサイクル・シール/袋を購入して東部リサイクル・センターに出しましょう。

——自治会連合会・環境部会より

挨拶 住み良いまちづくりの出発点に

——桜台支部の方より

私は、週に4~5日ウォーキングをしています。時間やコースは決まっていなくて、その日の天気や体調などで決めています。目的は健康のためで、できるだけさっさと歩くように心がけていますが、周囲の季節の移り変わりや町の様子を見ながら歩くのも楽しみです。

時々、下校途中の小中学生に会うことがありますが、最近の子どもたちは、出会ったとき、挨拶する子が多くなったように思います。そんな時、とっても気持ちが良いし、嬉しいですね。



一方、大人で、出会っても挨拶を返さない人が見えますが、知らない人でも会釈するだけで気分が良いものです。楽しくみんなが住みやすい町づくりのスタートは、やはり挨拶からだ改めて感じるこのごろです。

都市防災 大規模化・複雑化する災害

——桜台市営支部・亀山 節男さん

私は、あの阪神淡路大震災を大阪で体験しました。今でもあの立ってられない状況を思い出します。

都市構造の急激な変化に伴い、災害の質も変化し、また、水資源の無秩序な利用は、思わぬ災害をもたらします。もし、都市で大震災が発生したら？ビルや地下街で地震に伴って発生した大火災は、狭い空間で瞬間に燃え広がり、大量死を招くでしょう。

道路でも、車の衝突や交通停滞で大混乱が起きます。中越沖地震では、原発までが被災し、放射能漏れの危険もあったと、その耐震性が問われています。

今までの都市開発は、機能や効率性を高めることに力を入れ、防災面については不十分でした。大規模化し、複雑化していく災害に備えて、防災体制を十分に考えた都市再開発や交通網の整備を行うことが大切で、地方の団地とて例外ではないと思います。 □■

岐阜市でもさまざまな状況を想定して、岐大生や市民多数による総合防災訓練が実施されました。



回覧でご案内のように**高齢者福祉大会が10月28日(日)、芥見東公民館で催され、金婚式や「後期高齢者医療保険制度の改訂」についての説明会が行われます(社協主催)**